

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

|                   |   |
|-------------------|---|
| 審議会等の名称           | 第26回 西脇市子ども・子育て会議   |
| 開催日時              | 令和6年3月22日（金）<br>午後1時30分から3時10分まで  |
| 開催場所              | 西脇市役所 委員会室  |
| 出席委員の<br>氏名又は人数   | 14名   |
| 欠席委員の<br>氏名又は人数   | 1名  |
| 出席職員の職・<br>氏名又は人数 | 事務局9名   |
| 公開・非公開<br>の別      | 公開  |
| 非公開の理由            | —   |
| 傍聴人の数             | 1名  |
| 議事又は<br>報告事項      | 1 こども大綱等について<br>2 子ども・若者・子育て支援に関するニーズ調査等及び子育て関係団体等への意見聴取結果報告について<br>3 令和5年度西脇こども会議及び子どもの意見聴取について<br>4 その他 |
| 会議の記録（概要）         |   |
| 事務局               | ○開会<br>○教育創造部長挨拶<br><br>【議事】<br>＜こども大綱等について＞<br><br>資料1～1-3に基づき、事務局から説明                                   |
| 委員                | 資料1-1にこども大綱の目標・指標とあるが、「自国の将来は明るい」と思うこども・若者の割合について   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>て国は目標値を55%と定めている。他と比較してこの項目だけ低いが、今までは3割程度だったのか。</p> <p>目標値を大綱で示してあるが、今後、実行計画が示される中でも目標値が示されると思う。現時点では、どのような調査を基にこの数値が出てきたのかということとは持ち合わせていない。</p>   |
| 委員  | <p>1点目、目標値に関して。国がこのくらいの数値が出るようにという目標なのかという点と、もう1点、資料1-2の初めの100ヶ月を重視するということが共通認識としてあると思うが、具体的に100か月でどのようなことに重点をおくのか教えていただきたい。</p>  |
| 事務局 | <p>まず目標値に関しては、委員のご指摘のとおり、国がこれから目指すところとして定められている。西脇市は今から策定することも計画の中に西脇市の目標を掲載することとなるので、国の目標と西脇市の目標はある程度リンクする設計にするべきではないかと考えている。もう1点、はじめの100ヶ月に関して。乳幼児期の教育は大事なものだと考えている。こども園をはじめとした就学前教育の中で、遊びながらいろいろな体験をするということを西脇市の幼児教育の分野で行っている。そのあたりが西脇市も重要と考え、カリキュラムを作成し、取り組んでいる。</p>                  |
| 会長  | <p>子どもが中心になることは間違いないが、資料1にあるこども施策の基本的な方針の5番目、「若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路の打破に取り組む」とある。若者が希望を持てる社会づくりも重要な点だと思うので、そういった視点も西脇市の施策に反映してほしいと思う。身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会を、バイオサイコソーシャルウェルビーイングというが、ことあるごとにこのことを述べる先生もおられる。その先生は、お題目のようにバイオサ</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>イコソーシャルウェルビーイングと唱えてほしいとおっしゃっている。小児科医の活動もそれに基づいて活動している。</p>  |
| 委員  | <p>100か月というと、8歳程度の小学校低学年までが特に大事だと考えられている。生まれてから小学校低学年あたりを一体としてみたいこうという考えが子ども家庭庁の趣旨となる。西脇市には期待している。</p>   |
| 会長  | <p>こども家庭庁のホームページにこども大綱が掲載されているが、そこにはライフステージ別に目標が記載されているので、皆様ぜひ一度目を通していただき西脇市の子どものために役立てていただけたらと思う。</p> <p>&lt;子ども・若者・子育て支援に関するニーズ調査等及び子育て関係団体等への意見聴取結果報告について&gt;</p>   |
| 事務局 | <p>資料 2-1～ 2-3に基づき、事務局から説明</p>   |
| 会長  | <p>質問等があればお願いします。</p>  |
| 委員  | <p>居場所について、こどもの居場所づくりが資料1-3で重要とされている。そこで子どもの居場所とは何かと考えた。本調査では、13%ほどの小学生が、居場所がないと回答している。この「ない」を「ある」に変えることが一つの目標となるが、その居場所とは何なのかという問題がある。小学生の回答は「好きなことをして自由に過ごせる場所」が69.6%と最も多くなっているが、資料1の方では「すべての子どもが安心して安全に過ごせる多くの場所」となっている。好きなことをして自由に過ごせることだけが居場所なのか、回答してくれた小学生が考えている居場所と、大綱が考えている居場所の整合がとれていないように見受けられる。どういう居場所づくりを目指しているのか、そのあたりについて教えてもらいたい。</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>答えはないが、国の資料説明で居場所について説明した際に、子どもの視点に立ってというところがあったが、今回の子どもからのアンケートの意見のように「好きなことをして自由に過ごせる場所」が本当に居場所になるのか、そのあたりも子どもの意見を改めて汲み上げながら、居場所について深く考える必要がある。居場所をハコモノとして新しく作ることは市としても難しいので、今あるものを安心できる場所に変えていくということも一つの手段であるし、自宅が安心できない場所であれば改めて居場所を作る必要もある。このあたりも子どもの意見を汲み上げて、今後の居場所づくりについて計画に反映していきたいと考えている。</p> |
| 会長  | <p>委員はどのような場所を「居場所」と思うか。</p>  |
| 委員  | <p>理念の最初にある「安全で安心して過ごせる」が中心かと考えている。回答の場所について学校を考えた際に、「好きなことをして自由に過ごせる」時間も存在するが、もちろんそれだけではない。他の公共の場所も、例えば図書館では、本を読みたいという目的があれば、自由に読めると居場所と思うが遊びたいと考えたら適した場所ではない。その場所によって思いを遂げられ、安心安全が保障されているということが大事かと思う。やはり一番は安心してリラックスしていただけるという点ではないか。</p>  |
| 会長  | <p>一種のシェルターというか、逃げ場所の確保という面もあるのかと考える。自己肯定感についてデータを見ると心配な点がある。地域とのつながりなどご意見があれば伺いたいと思う。</p>  |
| 委員  | <p>生後から3歳くらいまで自分の家で過ごすので、そこが居心地の良い場所となるが、成長につれてこども園や小学校など、過ごす場所によってそこが居心地の良い場所となる。外に出て遊ぶようになると、そこが危なくないか親や周囲も観察しながら、自由にさせたり遊ばせたりすることで、居場所となる。小学生を卒業し、中学生になると電車で遊びに行くなど行動範囲</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>も広がっていく。必ず居場所はこうでなくてはいけないという基準があるわけではないと思う。周囲の大人の目が届くことも大事で、年齢に応じた居場所があると思うので、「あるべき」居場所はないのではないかな。</p>   |
| 会長  | <p>アンケート結果では子どもは居場所が欲しいと言っているわけで、果たして見守るだけでいいのかどうかという問題がある。共働きだったりすると見守る時間もあまりないという問題もある。</p>   |
| 委員  | <p>もう少し細分化できればと思う。逃げ場所として周りと断絶された空間も必要かと考えると、居場所は年齢だけではなくその時々で変わるのではないかな。「誰かといて安心できる居場所」と「一人で静かに過ごせる居場所」でも違う。このようにいろいろあるので、西脇市ではこういう居場所が少ないなどの具体化もできるのではないかな。</p>                             |
| 会長  | <p>他の地域で居場所について参考になれば教えてほしい。</p>  |
| 事務局 | <p>今回初めて小中学生にアンケートを行ったが、今後こども計画を策定する際に子どもの意見を聞くことが他の市町村でもされるかと思う。現在西脇市が先行していることもあるので、これからも情報収集に努める。先ほどの居場所について、空間だけでなく時間ということもある。いろいろな方面から考えていかなければならない。事務局としてもこれからしっかり考えていかねばならないと考えている。</p> |
| 会長  | <p>他市に先立ってアンケート調査しているなら、答えも独自のものを用意する必要があると思う。本会議でも意見をいただきたいと思う。今後の大きな検討課題としていきたいと思う。</p>   |
| 委員  | <p>私が今勤めている学校の校区内には茜が丘複合施設 Miraie（以下「Miraie」という）があり、そこでは放課後子どもたちが遊ぶ姿を見かけるし、放課後校区内</p>   |

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p>をパトロールする際も子どもの姿を見かける。公共の場で遊ぶことも多いが、誰かの家に行くことも多い。高学年になると校区内は自転車等で移動してよく、低学年では家の周りなど、家庭での話し合いの中での制限がある。一概には言えないが、自分が子どもの頃のような大勢の人数で集まり、外で走り回るという光景は少なくなっている。</p>   |
| <p>会長</p> | <p>Miraieは良い施設だと思う。子どもが集まる場所でもあるし大人も行ける。交流の場所でもあるし一人にもなれる。もっと利用してほしいが、Miraieだけでも足りないし、「居場所」というのは遊ぶ場所というだけでなく、1～2割の自己肯定感の低い子どものことをいかに守るかを考えて「居場所」を考えていかなければならないと思う。</p>  |
| <p>委員</p> | <p>NPO法人みなみ会に所属しており、週1回、Miraieで子どもの見守りや宿題をサポートしたりしている。学生のサポーターには外に遊びに行ってもらっている。現在不登校の子どもや引きこもりの中高生が増えているが、西脇市にはその子どもたちの居場所がないのではないかと考えている。先日、民生委員の講習会があり、引きこもりの体験談について聞く機会があった。「居場所」でいろいろな作業を経験し、結婚までされたという話だった。ひきこもりや不登校の方という視点ではMiraieはあてはまらない。Miraieの利用者は重春小学校のお子さんが多い。西脇小学校校区にはドウジウム（生活文化総合センタードウジウム）があるが、活用している方は少ないのではないかと。そういう所でも見守りができればと思うし、黒田庄にもあればいいと思う。小学生にはアクセスの問題もあるので、Miraie以外もあればいいと思う。</p> |
| <p>会長</p> | <p>不登校や引きこもりの方が通えるというとフリースクールのような存在のことかと思って聞いたが、検討課題かと思う。人口密度の問題もあり、Miraieには人が集まりやすくても黒田庄では難しいという地理的な問題も含めて考える必要がある。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <p>保護者の調査に、ショートステイとファミリー・サポート・センターがあるが、認知度と利用状況が少ないという結果が出ている。認知度が低いのは市の方針としてこれまで啓発が十分なされなかったからか。もう1点、就学前保護者への質問のP25問38の「あなたが将来必要なこと」という質問で30.1%の方が「病気や出産・事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」という希望がある。具体的にこの希望を取り組む道筋があるのか。</p>    |
| 事務局 | <p>ご指摘の点は課題だと感じている。親御さんの病気などの事情の際、短期間預かってもらえるサービスとしてショートステイがある。現状、そういう場合児童養護施設を中心に調整を行っているが、児童養護施設に空きがなく利用が難しいこともあり、実績としては少ないと思う。委員のご意見にもあったが、県では里親さんへのショートステイを進めているので、西脇市でも連携して、里親さんへのショートステイを利用したいと考えている。</p>               |
| 委員  | <p>ファミリー・サポート・センターについて、現在西脇市ではシルバー人材センターに一括でお願いしている。他市の話では、子育て世代の若い世代の方が協力してくださると聞く。経済的なことを考えても共働きの方が多いので難しいかもしれないが、啓発によって子育てを協力して行おうという空気が醸成されればいいのかと思う。大きい街を模倣するのではなく、西脇市の規模で顔と顔が見える所で進めていける施策が必要かと思うので、これから考えていければと思う。</p> |
| 事務局 | <p>ファミリー・サポート・センターについて、互いにという経路ができたらと思う。現状はシルバー人材センターに委託しており、知っておられる方はいても利用に結びついていない現状は、我々としても課題だと思っている。ご意見をいただく中で、今のお母さん方は知らない人に子どもを預ける勇気が出ないということなので、まずは関係づくりを行ったうえで、知っている方なら預けてもよいという仕組みを作りたいと思っている。そのようなかたちで、ファミリー・サ</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>ポート・センターの利用者を増やしていければと思う。もう1点、お母さん方それぞれには、こどもプラザ等で仲間づくりをしていただき、お互いに子どもを見るというような関係性ができるような体制をつくっていきたいと思う。</p>   |
| 会長  | <p>関係づくりにはやはり同じ西脇市民同士お互い様だということところが重要で、行政に任せるだけはいけないと思うし、市民が盛り上がる方法を我々も考えていかなければいけないと思う。</p>  |
| 委員  | <p>西脇市職員の育児休業や短時間勤務の取得状況について教えていただきたい。資料2-1のP9問24から始まる短時間勤務の取得状況だが、P9の表を見ると、育休取得率は、母親の「働いていない」方を除けば大体7割くらい、父親の取得率は「働いていない」を除けば1割くらいになる。世の中の平均は、母親が大体8割で父親が2割くらいと考えると、若干低い印象をうける。その理由は母親では「退職した」を除くと上位が「制度がなかった」「育児休業が取りにくい雰囲気があった」というものになる。父親においても「育児休業が取りにくい雰囲気があった」という理由が上位にくる。仕事が忙しいのは皆同じなので理由にはなりにくいので、事業主によって本来されるべきところがなされていないということがあると思う。ただ、事業主の皆さんに育休取得を呼び掛けてもなかなか進まないで、まず西脇市役所で率先して育休、短時間勤務取得の範を示してほしいと思う。</p> |
| 事務局 | <p>データを持っていないので、次回お答えする。</p>  |
| 会長  | <p>例えば国家公務員で育休を取らせないと査定されるそう。西脇市も率先して育休を取る姿勢が大事ではないかと思う。</p>  |
| 事務局 | <p>ここ2～3年で変わってきており、育休を取る職員も増えてきている。また詳細は後日述べたい。</p>   |
| 委員  | <p>育休の割合が少ないのは事実だと思う。西脇市の</p>   |



特質として、個人事業主が多いことがあるのではないかと思う。もちろん行政の方が率先して取得し推進する必要があると思う。当然市民の反発もあるかと思うが乗り越えないといけないと思う。こども園では、年間 180人くらいしか生まれていないのに0歳児の待機児童が多いというよくわからない状況になっている。資料 2-3のP6を見ると、休みやすい企業が増えてほしい、発達支援センターが欲しい等の要望がある。里親コーディネーターは我々でもできるのか。ファミリー・サポート・センターもそうだが、子ども・子育ては地域でした方がよいと思うので、こども園でもなんでもよいので、地域の子育てを地域でできるように、例えば堺市では、子どもが生まれたときの各戸訪問を保育士が行っている。保育士を中心としたコミュニティを作って、例えば、ファミリー・サポート・センターの会員もバスの見送りの親御さんの顔が見えているなど、お互いに顔の見えるコミュニティをつくっていくような、保護者支援のためにお互い様という土壌を、時間をかけても作っていかなければならないのではないか。その際、社会福祉法人なども利用してもらって、里親なども増やしながらかん張ってほしいと思う。

会長

保護者代表として何か意見はないか。

委員

西脇市は小中学校でいじめの問題が多発しているように見受けられる。この問題に関して改善したいことについて何かあれば伺いたい。

事務局

ご指摘のとおり、新聞等でいじめの問題が取り上げられているが、実際いじめの認知件数はどんどん上がっている。いじめの中身としては、昔ならいじめに該当しないようなものでもいじめと早期認定して早めに対応するという、早期発見早期対応で再発はだいぶ減っており、いじめの感度を上げることに取り組んで定着してきている。次はいじめの発生自体を減らすような取組を行っている。また、不登校等人間関係の構築が苦手な子どももいる。非認知能力の育成に力を入れたり、今年はスクールカウンセラーをプラスで配置

|            |   |
|------------|---|
| <p>委員</p>  | <p>し、人間関係構築にアドバイスをいただけるようなアプローチをしながら、子どもが良い人間関係を築けるような状況を構築するべく今年から強化しているところである。</p> <p>育児休暇のことがあったが、子どもが小さい間は私自身が病気の際も病院に連れていけたが、子どもが小学生となった今、治療時間がわからない時など、連れて行くのも留守番も難しい状況で、皆さんどうしているのかという疑問がある。1～2時間のために夫に帰ってもらうのか、遠くの祖父母に預けに行くのか、先日も急な通院が必要となった際に、友人に預けようにも皆さん都合が悪く預けられなかった。そういった時にお金もかからず預けられるところや近所の方に預ければいいと思う。</p> |
| <p>会長</p>  | <p>先ほどの西脇市民同士お互い様だからという問題や居場所の問題にもつながってくると思う。</p> <p>&lt;令和5年度西脇こども会議及び子どもの意見聴取について&gt;</p>   |
| <p>事務局</p> | <p>資料3に基づき、事務局から説明</p>  |
| <p>会長</p>  | <p>この会議に参加したが、皆さん熱心で素晴らしかった。子どもたちはデジタルネイティブ世代なので、こういう形で意見をとり入れることは非常に良いと思う。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>「西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例」の認知度が低いことがわかったのは残念だが、この条例が存在するという事は西脇市の財産だと思うので、この条例をもっと活用すれば良いと思うが、冊子のようなものはあるのか。</p>   |
| <p>事務局</p> | <p>冊子はないが、子育て支援ガイドブックを発行し、条例の紹介をしている。そのガイドブックにQRコードもつけて市のホームページにアクセスできるようにして周知している。</p>   |

|      |  |
|------|--|
| 委員   | <p>中学生くらいになればガイドブックや条例は読めると思う。条例に書いてあることがどの程度反映されているのか、子ども自身が検討できるような体制や、大人でもどの程度条例が達成できているのかわかる体制ができたら良いと思う。</p>  |
| 委員   | <p>市のホームページを拝見しているが、参加した子どもの感想や利用者アンケート的なものがあれば更に良いと思うし、参加者の確保につながるのではと思う。</p>   |
| 会長   | <p>グラフィックレコーディングをしばらく設置されていたが、今は無い。もうしばらく設置していても良かったのでは。</p>   |
| 事務局  | <p>グラフィックレコーディングについては再度展示したいと思う。今回グラフィックレコーディングを入れたことで視覚的にわかりやすかった点もあるが、楽しかったという感想やまた参加したいという意見があったことを報告する。</p> <p>次回の会議については、新年度になり6月上旬頃と考えている。引き続き委員の皆様にはお力添えいただければと思う。</p> <p>○福祉部長挨拶<br/>○閉会</p> |
| 問合せ先 | <p>西脇市福祉部こども政策課<br/>電話：0795-22-3111（代）</p>   |